2017年度「まちづくり元気塾®」

支援団体紹介

2017年度は4団体の支援団体を対象に、まちづくりパートナーによる講義や、地域の魅力を再発見するワークショップなどが活発に行われてきた。元気塾を通じて、それぞれの地域に暮らす人たちが、地域の「強み」と「弱み」を知り、地域資源の発掘や課題解決に向けて取り組んでいる。地域が目指す将来像と、そこにたどり着くまでのアプローチを、まちづくりパートナーとともに検討してきた4団体の取り組みを紹介する。

秋田県能代市　**特定非営利活動法人 能代観光協会**

地域資源を活用した滞在型観光の推進による能代市への誘客促進

世界自然遺産・白神山地の玄関口として多くの観光客が訪れる秋田県能代市。能代観光協会では、こうした地域の自然や文化、産業を取り入れながら、現状の「通過型観光」から「滞在型観光」へとシフトさせ、交流人口を拡大させ、観光振興につながるまちづくりを目指している。元気塾のワークショップでは、能代駅周辺の商店街で地域資源を調査するためにまち歩きを行い、「お宝地図」を作成するなどして、「観光客を50万人呼び込む」ためのアイデアを出した。また、これを基に、「イベント」「既存の地域資源」「食」のテーマについて検討を重ね、実践につながるアイデアを絞り込んだ上で、「誰が」「どのように」実施していくのか具体的な検討体制を議論。目指す「滞在型観光」のシフトに向けた準備を着々と進めている。

まちづくりパートナー

菊池　新一 氏（きくち しんいち）
道駅ふる里・潤ふるネットワーク会長
／チーフパートナー

寺川　重俊 氏
市川ふるさと研究所代表取締役
ヒロ ナ ガ
廣井　寿 氏
プロジェクト・地域活性
代表取締役社長

農事組合法人　**湯の郷**　岩手県花巻市

花巻南温泉峡など地域資源を活用した観光と農業の連携

農事組合法人湯の郷は、「山間地の活性化」を住民参加型のまちづくりで実現することを目指し、地域資源である花巻南温泉峡などを活用した観光と農業の連携をテーマに活動を行っている。元気塾では、まちづくりパートナーから、山形県かみのやま温泉で実施されている、湯泉・食事・ウォーキングを組み合わせた健康づくりツアーの紹介を受けたほか、地域資源を活用した商品開発・ブランド化の進め方やアイデア実現に向けた予算化・スケジュールの設定などについてアドバイスを受けた。また、ワークショップを通じて、特産品のレシピ、そば、タマネギなどを活用した商品開発、温泉峡周辺のウォーキングツアーや、農業体験といった誘客を目的とした企画などのアイデアが生まれた。現在、そのアイデアを具体的な成果に結びつけようと取り組みが進められている。

まちづくりパートナー

柳井　雅也 氏（やない まさや）
東北学院大学教養学部教授
／チーフパートナー
ヒ ロ ム ラ
廣谷　宙美子 氏（ひろむら ひろみこ）
東北地域海浜研究室教育部会
ヒ ロ ム ラ
廣谷　宙美 氏（ひろむら ひろみ）
JUP温泉プロモーション協議会会長
ヒ ロ ム ラ
廣谷　美織 氏（ひろむら みおり）
office JUPHIROM代表
ホ ソ ダ　ヒ ロ ト
細田　浩一 氏
仙台高等専門学校野蒜地域づくり
エクステンションプロジェクト
ヒ ロ ム ラ
宮本　貴嘉子 氏（みやもと きかこ）
花巻市コミュニティアドバイザー
（オンザベーター東京）

まちづくりパートナー

福江　達夫 氏（ふくえ たつお）
中部学院大学・短期大学
／チーフパートナー
寺川　重俊 氏
市川ふるさと研究所代表取締役
ヒ ロ ム ラ
廣瀬　祐子 氏（ひろせ ゆうこ）
工学まちづくり合同会社代表取締役

「花のまち高田プロジェクト」を通じた地域の活性化につながるまちづくり

「日本三大夜桜」や「東洋一の藤」など花の名所として知られるとともに、江戸時代以来の城下町の風情が残る新潟県上越市高田地区。城下町高田花ロード実行委員会は、この趣のある街で、花とアートをテーマにしたイベント「花ロード」や、個人宅の庭などを公開するオープンガーデンなどを実施し、地域活性化につながるまちづくりを目指す団体。元気塾では、「花のまち高田」の実現に向けて、どのような視点やアイデアが必要か議論を重ね、具体的なイベントやそれを継続的に実行するための組織づくりについて検討。「『花のまち高田プロジェクト』を考える」と題して実施したワークショップでは、メンバーそれぞれが考えたアイデアを発表・整理し、活動の方向性を確認した。こうした議論を経てアイデアを絞り込み、今後、四季を通じたイベントの開催などの具体的な企画を実行に移すため、体制を整えていくこととしている。

新潟県上越市　**城下町高田花ロード実行委員会**

まちづくりパートナー

志賀　芳一 氏（しが よしかず）
東北地域海浜研究室代表
／チーフパートナー
米田　誠司 氏（よねだ せいじ）
愛媛大学法文学部准教授

地域資源を活用した交流人口拡大につながるまちづくり

明治時代の洋風建築物などが残り、「みやぎの明治村」とも呼ばれる登米市登米町。とよま絆の会は、まちの魅力を生かしながら交流人口を拡大させ、地域活性化につなげようと取り組む団体。元気塾のワークショップでは、地域をあらためて見直すため、「登米をどんなまちにしたいか」をテーマにグループディスカッションを行った。そこで出たアイデアに基づき①「歴史文化を大切にするまち」②「自然景観・街並みと文化施設を大切にするまち」③「女性と若者が輝くまち」の3つに絞り込み、より踏み込んで議論。検討結果を踏まえ、登米の魅力を発信する役割を担う組織の設立と、人が集える交流スペースの整備を目指して具体的な検討を始めるとともに、新たな組織の核となる人材をどうするか、出資者をどう募るかといった課題解決に向けて取り組んでいる。

宮城県登米市　**とよま絆の会**

電気事業関東北支所　〒980-8550 仙台市青葉区本町一-7-1（行政）